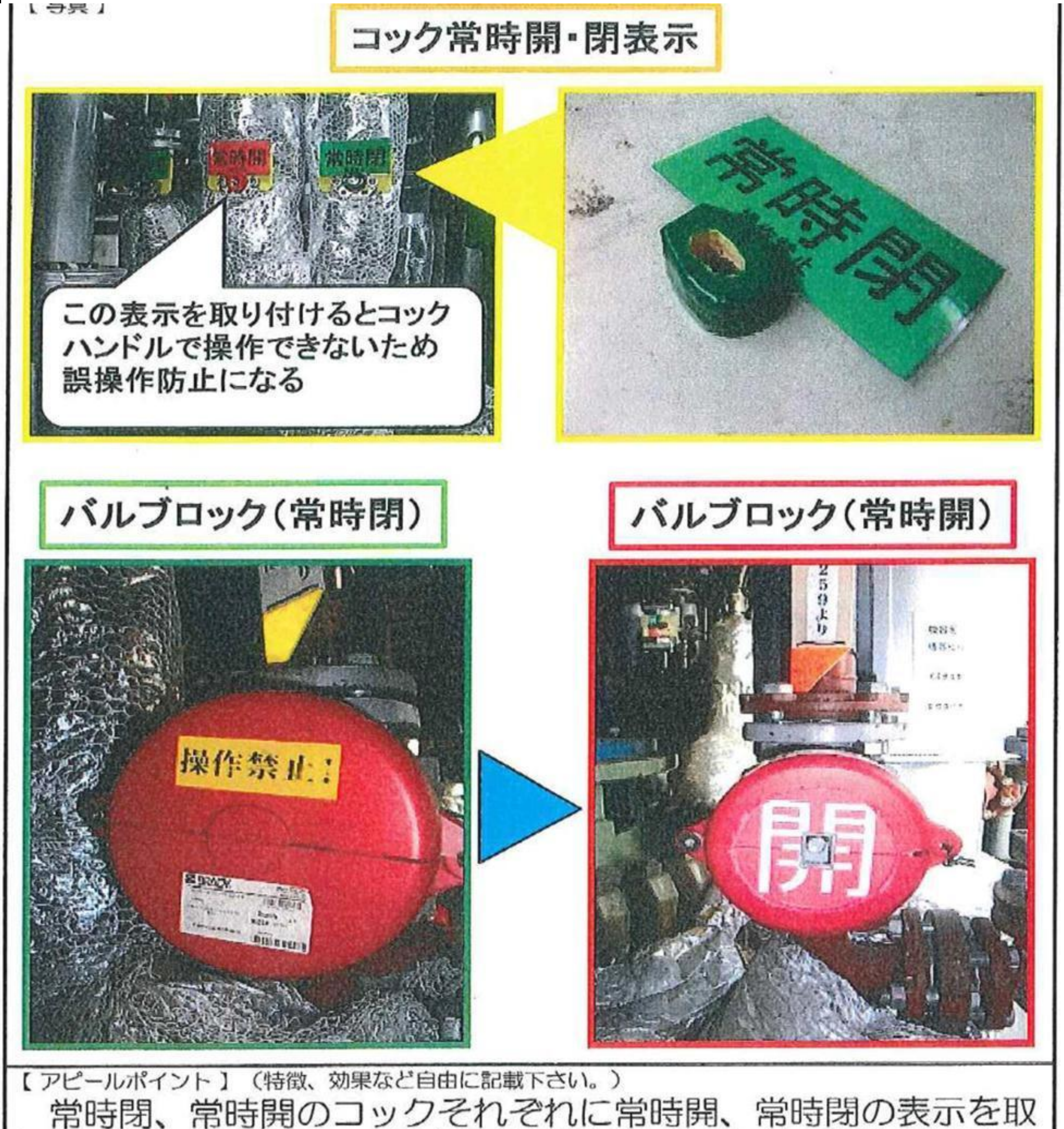
■タイトル	「コック・バルブ誤操作防止表示」
■概要	●工場内のコックで、操作してはいけないコックを誤って操作する可能性があった。 このため別紙写真の様なコックハンドル操作が出来ない治具作成し、誤操作防止を図った。バルブについては、市販のバルブロックを改良して、状態が判る様なMM化を実施し、誤操作防止に努めた。



【アピールポイント】（特徴、効果など自由に記載下さい。）

常時閉、常時開のコックそれぞれに常時開、常時閉の表示を取り付けた。コックハンドル取付け部を隠すことで、操作ができないようにした。バルブについては常時開のバルブを誤って閉止してしまうトラブルが発生した。そこでバルブロックの表部分を切り抜き、バルブが開であることを確認できるように加工し常時閉のバルブとの区別化を行った。